

第5回ファインバブル技術講習会のご案内

ファインバブル技術の最新動向と計測技術の実演～ナノ・マイクロバブルからファインバブルへ～

最近、マイクロバブル及びナノバブルを総称して「ファインバブル」と定義した国際標準規格(ISO)が提案されています。ファインバブルを実際に利用したい、あるいは測定、実験、研究をしてみたいと考えている、企業ならびに大学の研究者・技術者むけに、基礎、応用および最新の話題に関する専門家による講演と、各種ファインバブル発生装置メーカーによる実演展示、分析測定装置メーカーによる気泡径分布測定などの実演測定により、ナノバブル・マイクロバブルの研究分析手法の実演を行います。

主催: 日本混相流学会、化学工学会九州支部

協賛: 化学工学会(粒子・流体プロセス部会 気泡・液滴・微粒子分散工学分科会)、日本ソノケミストリー学会、東九州化学工学懇話会、西九州化学工学懇話会、南九州化学工学懇話会、北九州化学工学懇話会、沖縄化学工学懇話会、(一社)微細気泡産業会

日時: **2013年11月20日(水)** 9:50～18:30

会場: **福岡大学** 文系センター第4会議室(講演会)、会議室前ロビー(実演展示会)、スカイラウンジ(交流会)

交通: 福岡空港または博多駅から地下鉄空港線経由、七隈線福大前駅下車

詳細: <http://www.fukuoka-u.ac.jp/help/map/map.pdf>

住所: 福岡県福岡市城南区七隈 8-19-1

プログラム

1. 開会の挨拶
慶應義塾大学 寺坂宏一
2. 太陽電池駆動を可能とする低動力マイクロバブル発生システムの開発とその応用例
熊本大学 佐田富道雄
3. マイクロバブルの基礎と福岡・熊本でのその応用
有明高専 氷室昭三
4. 超音波診断治療におけるマイクロバブルの応用
福岡大学 立花克郎
5. マイクロバブル・ナノバブルの応用事例(仮題)
サンスター(株) 岡 徹
6. 共振式質量測定法によるのウルトラファインバブル測定技術紹介
スペクトリス(株) 池田英幸
7. ファインバブル発生・計測技術実演展示会
8. 交流会・名刺交換会
9. 閉会の挨拶



◆**参加費** : 主共催学会正会員 15,000 円, 主共催学会学生会員 2,000 円, 化学工学会法人会員 20,000 円, 非会員 30,000 円。いずれもテキスト代と交流会費を含みます。

◆**申込方法**: 参加ご希望の方は、次ページの参加申込フォームに、1) 氏名, 2) 勤務先・所属, 正会員, 3) 連絡先(郵便番号, 住所, 電話・FAX番号, E-mail アドレス), 4) 会員資格学生会員, 5) 交流会の出欠を書いて、下記宛先まで e-mail または FAX でお申し込みください。

申込受付(正式受付は9月開始予定)の確認後に、参加費をご請求させていただきますので、請求書に記載された化学工学会九州支部の口座にお振込みください。

※なお、個人情報につきましては厳正に管理し、講習会企画での使用に限らせていただきます。

◆**申込先・問い合わせ先**:

第5回ファインバブル技術講習会事務局 (慶應義塾大学理工学部 寺坂研究室気付 茂木)

TEL: 045-566-1575 FAX: 045-566-1575 E-mail: chowchow@educ.cc.keio.ac.jp

◆**申込期限**: **2013年11月6日(水)** 会場の都合もあり先着 50名とします。なるべく早めにお申し込みください。